

第31回全九州スキー技術選手権大会開催要項

- 【主催】 S.A.J九州地区協議会
【後援】 S.A.J全九州スキー指導員会
【主管】 S.A.J九州地区協議会教育部会
【会期】 2023年1月29日（日）
- 【会場】 九重森林公園スキー場
- 【日程】 1月29日（日）
07:30～08:15 レンタルスキー下休憩所
08:30～08:40 開会式（スキーセンター前広場）
08:50～09:20 試走（各自1本）
09:20～09:30 チャレンジ技術選
09:40～11:30 個人戦
 (11:30～11:45 コース整備)
11:50 コース開放
15:00～ 閉会式・成績発表
- 【競技種目】 1 個人戦（男子、女子、シニア）
 (1) 総合斜面・大回り (2) 総合斜面・小回り
 (3) 総合斜面・総合滑降※2種目以上滑走に含む事
2 チャレンジ技術選（年齢・性別は問わない）
 総合斜面・フリー
- 【参加資格】 1 個人戦（男子、女子、シニア）
 (1)九州各連盟を通じて当該年度のSAJ会員登録を行なっている者
 (2)「SAJスキー補償制度」及び、スポーツ傷害保険、又はこれに準ずる傷害保険
 に加入済みの者
 (3)中学生を除く満15歳以上で1級以上の認定を受けた者
 (但し18歳未満の者は保護者の承諾を得た者)
 (4)(1)以外の者で(2)及び(3)を満たし、尚且つ表彰の対象から除外されることを認
 める者。（オープン参加とする）
 (5)シニアにあっては50歳以上の男女
 (18歳未満は保護者の承諾を得ること)
- 2 チャレンジ技術選
 (1)斜面を安全に滑走できる（SAJ2級程度以上）者
 (2)競技時における傷害に対し自己責任で対処できる者（未成年者は保護者の同
 意を受け、保護者が申し込む）
 (3)9時10分にスタート地点に集合可能な者（滑走後、現地解散）
 (4)出場者は抽選による10名程度とし、申し込み締め切り後に抽選結果を通知
 します

- 【順位の決定】 1 個人戦
 (1) 各種目の採点は、3採用とする
 (2) 総合成績の順位は、全種目の合計得点により決定する
 (3) 同点の場合、同位とする
2 チャレンジ技術選
 総合斜面.フリーでの採点のみ
- 【表彰】 総合成績により、男子、女子、シニア共に3位までを表彰する
チャレンジ技術選の表彰は行わない
- 【申込方法】 参加者は所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、参加料振込みの
コピーを添え郵送又はメールにて申し込むこと（FAXは禁ずる）
チャレンジ技術選希望者の内、未成年者は郵送とする。（保護者の同意を得る為）
（可能な限り連絡先にメールアドレスを記入のこと）
- 【申込み先】 佐賀県スキー連盟 教育部長 吉丸賢次
メールアドレス ssa359@skisaga.net
〒849-0501 佐賀県杵島郡江北町山口 3603-1
- 【申込締切】 2023年1月15日（日）必着
- 【参加料】 個人戦：4,000円、チャレンジ技術選：無料
- 【振込先】 佐賀県スキー連盟 教育部長 吉丸賢次
佐賀銀行 鹿島支店 普通 2002025
- 【その他】 1 積雪の状況.社会情勢により、競技の中止若しくは種目の変更をすることがある
2 競技規則は全日本スキー技術選手権に準じるが、使用する用具用品については
SAJ公認を推奨とする
3 中止の場合は参加料の半額を返却する
4 競技参加者のリフト料金は 受付時に徴収する。（調整中）
5 記入頂いた個人情報については、本競技会以外の目的には使用しません
- 【問合せ先】 SAJ九州地区協議会教育部
宇野 和明 TEL：090-3320-5669
E-MAIL：meisho@carrot.ocn.ne.jp

全九州スキー技術選手権大会競技規則

2022.10.10

- 1 採点方式は、各種目を100点満点とした減点法で採点し、3審3採用制により有効得点を決定する。
- 2 競技者はスタート地点に集合し、スタート審判のコールに応答しなければならない。
- 3 競技者は前者の出発後、直ちにスタート地点に移動し、出発のための準備を行う。
出発はスタート係の合図により、速やかに出発する。出発しない場合は、当該種目は棄権とする。
- 4 演技はスタートライン（ポール）からゴールライン（ポール）通過までとし、ゴールライン通過後は安全確保のため努めて停止するものとする。
- 5 演技途中で競技を中止する場合は、ストックの×印等により伝達し、以後の指示を待つ。
- 6 帽子、ヘルメットの装着は義務とし、ワンピースの着用は禁ずる。
(ヘアバンド及びキャップは帽子と認めない)
- 7 インспекション及び試走並びに整備等でコートに進入する場合は、ビブを着用しなければならない。
- 8 使用する用具・用品については努めてSAJ公認のものを使用する。
- 9 抗議については、ゴール後直ちに競技者本人がセクレタリー（又は審判長）に申し出る。
- 10 不測の事態によりスタートの遅延若しくは競技を中止する場合は、セクレタリー（又は審判長）に申し出る。
- 11 安全及び競技規定に反する、或いは競技者として相応しくない行為を認めた場合、競技を中止させる場合がある。
- 12 状況により、競技コート及び競技種目の変更を行う場合がある。
- 13 競技各種目は、設定された条件や状況に適合した回転弧、スピードで行う。
- 14 規定にない状況が生じた場合、技術代表及びセクレタリー並びに審判長の3者協議により決定する。
- 15 この競技規則の改正はSAJ九州地区協議会教育部会の議決による。

統制事項等

- 1 一般客との危害防止のため、コート外における滑走スピードには充分配慮し、周囲へ不安感を与えないよう着意すること。
競技コートまでの移動については、一般オープンまでの間、上部ゲレンデの整備を保つため、ゲレンデの脇を滑り、下部へ移動すること。（一般客の方々へ整備されたバーンを提供するため）
- 2 競技スケジュールは目安であり、競技進行には注意を払い、スタートに遅れることのないように。
- 3 安全確保等のために、競技途中で臨時にコート整備を行う場合がある。
- 4 コート整備には積極的に参加すること。
- 5 係員の指示には積極的に従い、円滑な競技会の進行に努めること。
- 6 用具、用品の安全確認は自己責任において確実に実施すること。
- 7 現地関係者の協力及び各関係機関の尽力の下に大会が開催されることを認識し、競技者として相応しい姿勢で大会に臨み、一般ゲレンデ利用者の規範となること。
- 8 登行リフト、競技時間中のリフト乗車は必ず ビブスを目視できるように着用する事
著しく規範を乱す行為があった選手については、失格を含めた処分を科す場合がある。